

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	京奈和自動車道のICアクセス向上によるネットワーク形成及び関西広域連携機能強化														
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	大阪府														
計画の目標	関西大環状道路の一部を形成する京奈和自動車道の整備に合わせ、高速道路ICにアクセスする府県間道路等を整備することで広域ネットワークの形成を図り、物流の効率化による都市・地域の立地競争力の強化を目指す。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		29,690	A	29,690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）	（H33末）	（H35末）
1	ICアクセスに係る時間の短縮を図り、ネットワークの機能を向上させる。			
	ICアクセス時間短縮率 〔ICアクセス時間短縮率（％）〕＝{〔要素事業の現道での所要時間（分）〕－〔要素事業供用による所要時間（分）〕} / 〔要素事業の現道での所要時間（分）〕	0%	0%	27%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	大阪府	直接	大阪府	国道	改築	（国）371号・石仏バイパス	バイパス L=4.7km	河内長野市						24,400	1.42	-	
	A01-002	道路	一般	大阪府	直接	大阪府	国道	改築	（国）371号（仮称新紀見トンネル）	トンネル L=1.4km	河内長野市						5,290	1.42	-	
												小計						29,690		
											合計						29,690			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大阪府道路室で評価を実施	令和3年4月
	公表の方法
	大阪府ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ICアクセスに係る時間の短縮に向け事業実施中
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行し、ICアクセスに係る時間の短縮に向け、引き続き事業進捗を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	27%	令和2年度より「ストック効果を重視したアクセス道路の整備による地域・拠点の連携強化」に移行
	最 終 実績値	0%	